

参加チーム用 感染症対策 対応表（プレイヤー・スタッフ・応援者用）

シーン	項目
1 事前準備	(1) チーム内において感染対策責任者を定める。
	(2) 大会に参加する上での注意事項をプレイヤー・スタッフ全員が理解する。（不安がある場合は参加を見送る）
	(3) 健康チェックシートを入手し、開催日まで健康チェックを行う。（1月1日からの検温と健康観察の結果を記録する） 勝ち上がったチームは、前回のゲーム日の翌日からの様子を改めて別の用紙に記録する
	(4) 保護者がゲームの会場、日時等を理解しており、参加を了承している。（了承しない場合は無理に参加させない。）
2 往復の移動	(1) マスクを着用する。
	(2) 往復の交通機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。
	(3) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。
	(4) 切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。
	(5) 電車・バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話を控える。
	(6) 目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。
	(7) 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。
3 ゲーム前	(1) プレイヤー・スタッフ・応援等、全ての人がマスクを着用する。（ただし、アップ時の着用についてはチームで判断する）
	(2) 健康チェックシートを会場責任者に提出する。
	(3) 更衣室を使う場合は、着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
	(4) 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。
	(5) 握手やハイタッチ等は行わない。
	(6) 円陣は行わない。
	(7) ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。
4 ゲーム中	(1) 会場内全ての人々がマスクを着用する。（ゲームに出るプレイヤーは外してよい）
	(2) プレー以外の不要な接触を避ける。（得点後の喜び、交代時の握手等）
	(3) コート上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
	(4) ベンチでのプレイヤー間の距離を極力保つ。
	(5) ドリンクボトルを他のプレイヤーと共有しない。
	(6) タオル等、リネンを他のプレイヤーと共有しない。
	(7) ゲーム前の握手、ゲーム終了後の握手や相手チームベンチ前での挨拶は行わない。
5 ゲーム後	(1) 使用したベンチや応援席の消毒をする。
	(2) 更衣室に戻る前に消毒や手洗い、うがいをする。
	(3) 更衣室を使う場合、着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
	(4) 会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で持ち返る。
6 帰宅後の過ごし方	(1) 手洗いうがいを徹底する。
	(2) 念のため、しばらくの期間、検温とともに健康観察をしっかりとる。
	(3) 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。
7 事後対応	(1) 帰宅後14日以内にチームの中から感染者が出た場合は、東京都バスケットボール協会U12カテゴリー部会に速やかにその旨伝える。